



2023年になってもう一ヶ月経ちます。今年度の終わりももうすぐ。時間はすぐに過ぎてしまいます。そして今回は令和4年度最後の新刊です。3学期ももう少しですが、また本を借りに来てください。

～今月の新刊～



もんた中毒続出中!  
猫なのに、猫じゃない!?今、注目度急上昇中の『もんた』という生き物。自然がいっぱいの田舎で、のびのびとのんびりマイペースに暮らすもんたの様々な表情をとらえた1冊になっています。  
ちょっと疲れたことがあった日や、仕事がうまくいかない日、人間関係にふさぎ込んだときに、眺めてほんわか癒しになるような、もんたの1stフォトブックです!

・著者について  
もんたの飼い主：もんたの飼い主。もんたを保護猫会から引き取り、以後大事に育てている。

図書館司書はもんたを応援しています。



「全日本ガン飛ばず猫選手権」



東大・京大 この10年で一番読まれた本! 2012年～2021年文庫ランキング(東大生協本郷書籍部・京大生協調べ)  
歴代の東大生・京大生が根強く支持する異例のベスト&ロングセラー!刊行から36年で126刷・263万部突破!アイディアが軽やかに離陸し、思考がのびのびと大空を駆けるには?  
自らの体験に即し、独自の思考のエッセンスを明快に開陳する、恰好の入門書。考えることの楽しさを満喫させてくれる一冊。



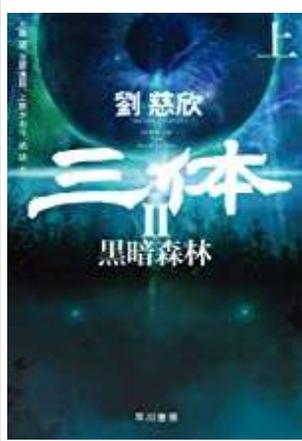
天下の奇人が語りはじめた、世にも珍妙な冒険譚  
おカッパ頭の少女のなりをした踊りの名手、大道芸人の美少年チイは、風俗壊乱踊りを踊ってつかまるが、超能力ぶりを発揮して当局者をケムにまく。  
つづいていかさま賭博を見破ったり、右翼玄洋社の壮士と炭坑労働者とのケンカを押さえるなど八面六臂の大活躍。  
大衆芸能を抑圧しようとする体制の支配に抵抗する民衆のエネルギーを、北九州を舞台に、緻密で躍動的な文体で描き出す、夢野文学傑作の一つ。



漫画を描くときに必ず出てくる疑問から練習法、描けない時の壁の超え方などから、ジャンプの大ヒット漫画家たちの描きおろしネームやアンケートを大ボリュームで収録!!  
回答掲載作家(五十音順)  
芥見下々先生(『呪術廻戦』)/尾田栄一郎先生(『ONE PIECE』)/久保帯人先生(『BLEACH』『BURN THE WITCH』)/吾峠呼世晴先生(『鬼滅の刃』)/佐伯俊先生(『食戟のソーマ』作画担当)/篠原健太先生(『SKET DANCE』『ウィッチウォッチ』)/白井カイウ先生(『約束のネバーランド』原作担当)/空知英秋先生(『銀魂』)/田村隆平先生(『べるぜバブ』『灼熱のニライカナイ』)/附田祐斗先生(『食戟のソーマ』原作担当)/筒井大志先生(『ぼくたちは勉強ができない』)/出水ぽすか先生(『約束のネバーランド』作画担当)/藤本タツキ先生(『チェンソーマン』)/堀越耕平先生(『僕のヒーローアカデミア』)/松井優征先生(『暗殺教室』『逃げ上手の若君』)/矢吹健太朗先生(『To LOVE る-とらぶる-』) シリーズ『あやかしトライアングル』)



子どもたちの明けない夜を描いた、『15歳のテロリスト』著者の衝撃作!  
少年院から退院した18歳の水井ハノは、更生を誓いながらも上手く現実には馴染めず再び犯罪に手を染めようとしていた。そんな時、SNSで「ティンカーベル」と名乗る人物から、ある仮想共有空間(メタバース)への招待状が届き――  
空間に集う顔も本名も知らない子供たちとの交流を通し、暗闇にいたハノは居場所を見つけていく。だが、事情を抱える子供たちのある“共通点”に気づいた時――、謎の管理人ティンカーベルが姿を消した。  
予想もつかない事態へ、ハノたちも巻き込まれていく。子供たちを集める謎の管理人ティンカーベルの目的とは。更生を願い、もがく少女が見つけた光は、希望かそれとも――?  
鳴りやまない反響に20万部突破 『15歳のテロリスト』の著者が放つ、新たな衝撃ミステリー!!



人類に絶望した天体物理学者・葉文潔（イエ・ウェンジェ）が宇宙に向けて発信したメッセージは、三つの太陽を持つ異星文明・三体世界に届いた。

新天地を求めると三体文明は、千隻を超える侵略艦隊を組織し、地球へと送り出す太陽系到達は四百数十年後。

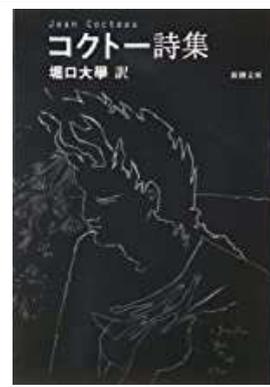
人類よりはるかに進んだ技術力を持つ三体艦隊との対決という未曾有の危機に直面した人類は、国連惑星防衛理事会（PDC）を設立し、防衛計画の柱となる宇宙軍を創設する。

だが、人類のあらゆる活動は三体文明から送り込まれた極微スーパーコンピュータ・智子（ソフォン）に監視されていた！

このままでは三体艦隊との“終末決戦”に敗北することは必定。絶望的な状況を打開するため、前代未聞の「面壁計画（ウォールフェイス・プロジェクト）」が発動。

人類の命運は、四人の面壁者に託される。そして、葉文潔から“宇宙社会学の公理”を託された羅輯（ルオ・ジ）の決断とは？

中国で三部作合計 2100 万部を突破。日本でも第一部だけで 13 万部を売り上げた超話題作『三体』の第二部、ついに刊行！



二十歳で才気あふれる詩人として文壇にデビューし、バレエ台本、小説、絵画、映画製作など、芸術のあらゆるジャンルにわたって才能をほしきままにしたコクトー。

彼の詩は、古典と前衛、調和と破壊を豊かな感性で結合させ、一作ごとに異なった美を生み出している。ここには、1920 年以後に書かれた『詩集』『寄港地』『用語集』『平調曲』『オペラ』から、代表作を収録した。



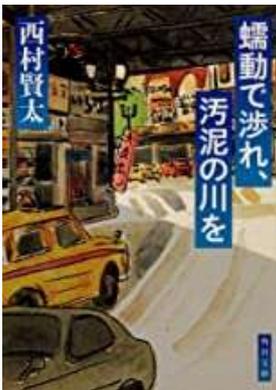
30万部突破！  
ホラー作家兼 YouTuber である雨穴氏による、自身初となる 11 万字書き下ろし「長編小説」！タイトルは『変な絵』。

あなたも、何かがおかしい 9 枚の絵の「謎」が解けますか？

とあるブログに投稿された『風に立つ女の絵』、消えた男児が描いた『灰色に塗りつぶされたマンションの絵』、山奥で見つかった遺体が残した『震えた線で描かれた山並みの絵』……。いったい、彼らは何を伝えたかったのか――。

9 枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の真実とは!? その謎が解けたとき、すべての事件が一つに繋がる！

今、最も注目を集めるホラー作家が描く、戦慄の国民的スケッチ・ミステリー！



善だの悪だのを超越した物語、『17 歳の失敗は、人生の失敗じゃないのだ』と貫多は私に教えてくれた――凄かなえ氏

こんな青春も、存在する――17 歳。中卒。日雇い。人品、性格に難あり。しかし北町貫多は今日も生きる――。

無気力、無目的に流浪の日々を送っていた貫多は、下町の洋食屋に住み込みで働き始めた。

案外の居心地の良さに、このまま料理人の道を目指す思いも芽生えるが、やがて持ち前の無軌道な性格から、自らその希望を潰す行為に奔り出す――。



栗井栄太のゲーム『DOUBLE』は恐ろしいゲームだ。

ゲーム機から降りた休憩時間中にも武装集団に銃口を向けられ、内人や創也のドッペルゲンガーが登場して、現実と仮想現実の境がわからなくなってくる。

同級生たちもアルゴシティに登場し、内人に意味深な表情を向けはじめた。夢に取り込まれてしまいそうになりつつ、第 3 ステージが始まってしまうが……。

現実世界が退屈でたまらないという栗井栄太に対する、創也の答えはいかに？



人は、自分の悲しみのために涙する。

陽子は、慶國の玉座に就きながらも役割を果たせず、女王ゆえ信頼を得られぬ己に苦悩していた。祥瓊（しょうけい）は、芳国（ほうこく）国王である父が篡奪者（さんだつしゃ）に殺され、平穩な暮らしを失くし泣（な）いていた。そして鈴は、蓬萊（ほうらい）から辿り着いた才国（さいこく）で、苦行を強いられ泣いていた。

それぞれの苦難（くるしみ）を負う少女たちは、葛藤と嫉妬と羨望を抱きながらも幸福（しあわせ）を信じて歩き出すのだが――。



小説投稿サイト・エブリスタに集まった 200 万作超の中から、10 代の「読みたい」だけを集めた大人気短編集シリーズ！

